



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,346	△6.8	△281	-	△267	-	△489	-
26年3月期第2四半期	4,666	△2.0	△122	-	△106	-	△115	-

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △459百万円(-%) 26年3月期第2四半期 △43百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△53.47	-
26年3月期第2四半期	△12.64	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,849	6,338	63.9
26年3月期	9,661	6,825	70.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 6,296百万円 26年3月期 6,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	3.00	3.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△0.8	40	-	70	-	40	-	4.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	9,382,943株	26年3月期	9,382,943株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	227,672株	26年3月期	226,991株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	9,155,674株	26年3月期2Q	9,158,977株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀の金融緩和を背景に円安・株高傾向が続き、国内景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら個人消費につきましては消費税率の引き上げによる駆け込み需要の反動や夏場の天候不順の影響など足踏み状態となっております。

食品業界では、依然として企業間競争は激しく、円安による原材料価格高騰への対応は充分には進まず、更にはフードディフェンスを含めた食の安心・安全への取り組み強化が求められております。

このような状況の中、当社グループは引き続き売上原価の高騰分を販売価格へ転嫁してまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は43億4千6百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、当社グループ独自の新たな製法による減塩タイプの凍豆腐を積極的に拡販してまいりました。この製法は重曹を用いた加工から、体内の余分な塩分の排出効果があるとされている炭酸カリウム加工に変更し、より健康に配慮したものとなっております。また、当社食品研究所が長年研究を行い発表した論文などを基に、余分なコレステロールを排出する効果があるレジスタントタンパクを多く含む食品として普及活動を行い、凍豆腐市場の維持拡大に努めてまいりました。更に本年9月1日より価格改定を実施し、原材料価格高騰分の転嫁を進めてまいりました。その結果、一時的に販売数量は減少し、売上高は17億3千万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。加工食品では、袋入りタイプ、カップ入りタイプともに新商品を継続的に発売してまいりましたが、低価格競争が激しく販売数量は減少し、売上高は18億7百万円（前年同四半期比9.7%減）となりました。その他の食料品では、医療用食材などが堅調に推移しておりますが、売上高は7億9千2百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

利益面では、円安などによる製造原価の上昇や販売数量の減少による限界利益額の低下、製造設備の取得とそれに伴う減価償却費の計上などもあり、営業損失2億8千1百万円（前年同四半期は1億2千2百万円の損失）、経常損失2億6千7百万円（前年同四半期は1億6百万円の損失）となりました。四半期純損失は特別損失に退職給付費用2億1百万円を計上したこともあり4億8千9百万円（前年同四半期は1億1千5百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ1億8千8百万円増加し、98億4千9百万円（前連結会計年度比1.9%増）となりました。総資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が3億4千9百万円減少したものの、現金及び預金が1億4千5百万円増加、たな卸資産が2億5百万円増加、製造設備の取得などによる有形固定資産が1億6千8百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ6億7千5百万円増加し、35億1千1百万円（前連結会計年度比23.8%増）となりました。負債増加の主な要因は、未払金が4億8千9百万円減少したものの、短期借入金の増加4億1千5百万円、長期借入金の増加4億1千3百万円、設備関係支払手形の増加1億9千5百万円があったことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度に比べ4億8千7百万円減少し、63億3千8百万円（前連結会計年度比7.1%減）となりました。これは当第2四半期純損失4億8千9百万円の計上や剰余金の配当2千7百万円を行ったことなどによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ6.3ポイント減少し、63.9%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の減少は1億3千2百万円であります。

資金の減少の主な要因は、売上債権の減少額3億4千7百万円及び退職給付に係る負債の増加額1億7千2百万円があったものの、税金等調整前四半期純損失を4億8千2百万円計上したこと、仕入債務の減少額2千9百万円、未払金の減少額1億4千万円があったほか、たな卸資産の増加額が2億9百万円があったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流入額が1億7千万円減少しております。この主な要因は、売上債権の増減差額9千6百万円、仕入債務の増減差額6千4百万円、未払金の増減差額3千万円などの流入増加があ

ったものの、税金等調整前四半期純損失の増加3億7千4百万円、たな卸資産の増減差額で1億5千8百万円の流入減少となったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、5億1千5百万円であります。

資金の減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出が1億4千8百万円、無形固定資産の取得による支出3億6千5百万円があったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出額が2億4千9百万円増加しております。この主な要因は、無形固定資産の取得による支出が3億円増加したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、7億9千7百万円であります。

資金の増加の主な要因は、長期借入れによる収入5億7千万円、短期借入の増加額3億円があったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流入額が8億4千万円増加しております。この主な要因は、長期借入金の返済による支出の増加で3千8百万円の流出増加となったものの、長期借入による収入の増減差額で5億6千万円、短期借入の増減差額3億円の流入となったことなどによるものです。

以上により当第2四半期連結会計期間末における資金は前連結会計年度末に比べ1億4千5百万円増加し、9億7千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、予想に比べ売上高が減少しているものの、年末の需要期に向け新商品の発売や、広告宣伝活動も含めた販売強化の施策を実施していくため、現時点において平成26年5月15日に公表いたしました平成27年3月期通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

なお、この変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,980,959	2,126,467
受取手形及び売掛金	2,129,811	1,780,660
たな卸資産	1,007,778	1,213,382
繰延税金資産	1,940	1,116
その他	114,951	100,461
貸倒引当金	△5,023	△4,666
流動資産合計	5,230,418	5,217,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,348,341	5,402,294
減価償却累計額	△4,317,924	△4,335,058
建物及び構築物(純額)	1,030,416	1,067,235
機械装置及び運搬具	6,842,489	6,860,032
減価償却累計額	△6,298,707	△6,173,105
機械装置及び運搬具(純額)	543,782	686,927
土地	1,671,643	1,671,643
リース資産	46,490	46,490
減価償却累計額	△24,833	△28,459
リース資産(純額)	21,656	18,030
建設仮勘定	27,817	25,352
その他	460,041	458,620
減価償却累計額	△382,908	△386,425
その他(純額)	77,133	72,195
有形固定資産合計	3,372,448	3,541,385
無形固定資産		
487,745		490,454
投資その他の資産		
投資有価証券	467,443	518,051
その他	103,604	82,546
投資その他の資産合計	571,047	600,597
固定資産合計	4,431,241	4,632,436
資産合計	9,661,660	9,849,859

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883,801	851,999
短期借入金	36,648	451,668
リース債務	6,377	5,148
未払金	923,087	433,931
未払法人税等	18,429	9,838
賞与引当金	34,275	32,889
設備関係支払手形	58,017	253,371
繰延税金負債	-	2,095
その他	130,306	144,813
流動負債合計	2,090,943	2,185,755
固定負債		
長期借入金	6,981	420,708
リース債務	14,700	12,302
繰延税金負債	168,610	184,782
退職給付に係る負債	494,142	652,628
資産除去債務	47,053	47,552
その他	14,100	8,100
固定負債合計	745,587	1,326,074
負債合計	2,836,530	3,511,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,449,567	2,932,519
自己株式	△127,577	△127,781
株主資本合計	6,572,258	6,055,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,437	175,055
繰延ヘッジ損益	-	3,823
為替換算調整勘定	91,379	73,132
退職給付に係る調整累計額	△24,394	△10,138
その他の包括利益累計額合計	209,422	241,873
少数株主持分	43,447	41,151
純資産合計	6,825,129	6,338,030
負債純資産合計	9,661,660	9,849,859

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,666,434	4,346,029
売上原価	3,651,085	3,483,003
売上総利益	1,015,348	863,025
販売費及び一般管理費	1,137,478	1,144,878
営業損失(△)	△122,129	△281,852
営業外収益		
受取利息	1,127	606
受取配当金	4,438	4,656
受取保険金	654	4,102
補助金収入	4,473	694
雑収入	6,361	6,694
営業外収益合計	17,055	16,755
営業外費用		
支払利息	479	2,320
為替差損	481	-
雑損失	905	397
営業外費用合計	1,866	2,717
経常損失(△)	△106,940	△267,815
特別利益		
固定資産売却益	1,211	-
投資有価証券売却益	1,409	-
特別利益合計	2,621	-
特別損失		
固定資産除却損	3,974	13,333
退職給付費用	-	201,664
特別損失合計	3,974	214,998
税金等調整前四半期純損失(△)	△108,293	△482,813
法人税、住民税及び事業税	6,637	6,104
法人税等調整額	△671	931
法人税等合計	5,965	7,035
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△114,259	△489,849
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,486	△268
四半期純損失(△)	△115,746	△489,580



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△114,259	△489,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,045	32,618
繰延ヘッジ損益	-	3,823
為替換算調整勘定	58,463	△20,274
退職給付に係る調整額	-	14,255
その他の包括利益合計	70,509	30,422
四半期包括利益	△43,750	△459,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51,083	△457,130
少数株主に係る四半期包括利益	7,332	△2,296

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△108,293	△482,813
減価償却費	219,089	163,228
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△533	△157
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,043	△1,385
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△36,081	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	172,741
受取利息及び受取配当金	△5,566	△5,263
支払利息	479	2,320
固定資産売却損益(△は益)	△1,211	-
固定資産除却損	3,974	13,333
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,409	-
売上債権の増減額(△は増加)	250,236	347,155
たな卸資産の増減額(△は増加)	△51,276	△209,703
仕入債務の増減額(△は減少)	△93,219	△29,217
未払金の増減額(△は減少)	△170,718	△140,695
未払消費税等の増減額(△は減少)	32,303	4,266
その他	△10,473	39,775
小計	49,341	△126,415
利息及び配当金の受取額	5,749	5,362
利息の支払額	△522	△2,352
法人税等の支払額	△15,999	△8,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,569	△132,008
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,050,000	△1,050,000
定期預金の払戻による収入	1,050,000	1,050,000
有形固定資産の取得による支出	△202,994	△148,211
有形固定資産の売却による収入	1,599	20
無形固定資産の取得による支出	△65,165	△365,947
投資有価証券の取得による支出	△1,913	△1,925
投資有価証券の売却による収入	3,484	-
貸付けによる支出	△2,600	△1,000
貸付金の回収による収入	1,792	1,621
その他	△6	△157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,804	△515,600
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	-	300,000
長期借入れによる収入	10,000	570,000
長期借入金の返済による支出	△2,770	△41,253
リース債務の返済による支出	△4,862	△3,625
自己株式の取得による支出	△49	△204
配当金の支払額	△45,250	△27,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,932	797,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,113	△4,550
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△265,054	145,508
現金及び現金同等物の期首残高	1,217,432	825,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	952,377	971,439

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	4,648,870	4,648,870	17,563	4,666,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	246	246	—	246
計	4,649,116	4,649,116	17,563	4,666,680
セグメント利益	482,066	482,066	12,874	494,941

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	482,066
「その他」の区分の利益	12,874
全社費用(注)	△617,071
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△122,129

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	4,330,086	4,330,086	15,942	4,346,029
セグメント間の内部売上高 又は振替高	417	417	—	417
計	4,330,504	4,330,504	15,942	4,346,446
セグメント利益	346,548	346,548	12,200	358,748

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	346,548
「その他」の区分の利益	12,200
全社費用(注)	△640,601
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△281,852

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。